

2014年度 活動計画 (案)

創立 20 周年を迎えたナルク本部の活動方針のスローガンは『行動を起こし改革を成功させよう』です。『学んで行動し、行動して反省し、また学ぶ』と続きます。

いつも前向きに失敗を恐れずに行動しましょうという事です。

これを受けてNALC「天の川クラブ」では次の活動目標を立てました。

(1)会員増加推進委員会は今年度も活動を継続します。

会員の口コミによる拡大は従来通りですが、一般市民に対しても、情報誌などを広く活用した広報活動に積極的に取り組みます。また、会員のフォローアップ体制を充実させ退会会員の減少を図ります。

会員増加は会員ひとり一人の共有課題とします。

(2)地区会を充実させ会員相互扶助活動につなげます。

地区会は会員情報の宝庫です。親睦会・サロンなどの積極的な取り組みの中で、会員間が密になり、会員相互扶助活動の増加につながるものと考えます。

(3)東日本大震災被災地に対して、募金活動も含めて支援を継続して行います。

5月25日から27日まで、宮城県で開催された本部主催の「20周年記念総会」に、「天の川クラブ」から53名が参加いたしました。被災地の復興が遅々として進まない現状を目の当たりにして、改めて支援活動の必要性を心に刻みました。

(4)10月開催予定の20周年記念イベントは全会員参加型の楽しいものにします。活気あふれる催しを計画しています。

(5)行政関係機関との連携による地域社会貢献活動に積極的に取り組みます。

貢献活動に備え会員の技量向上を図ります。その手立てとしてコーディネーター養成講座、シニア生活・介護支援サポーター研修など計画します。

2. 時間預託活動

担当 近藤秀子・蕎麦谷東造

ナルクの時間預託活動は、自身が支援を必要とする時に、他の会員に助けをもらう。これが会員相互扶助の考え方です。

利用者・提供者の思いが、活動の盛り上がりにつながる事を望みます。

(1) 会員相互扶助活動

家事介助の支援は、在宅生活に必要な家事全般の支援をします。会員の高齢化が進み利用する立場になりつつありますが、アンケートや地区会の情報を得て、提供会員の拡大と技量の向上に努めます。

庭の手入れは、2013年度の取組を継承し、地区単位での草引き・水やりを基本とした活動を行うと共に提供者交流会を通して、地区連携の充実を図り、利用者の要望に応えます。

ハウスヘルパーは、専門的スキルを要する作業にも、迅速な提供活動を心掛け、更に活動の活性化を図ります。

送迎は、外出・移動困難な利用者の通院や買物の他、観劇・講演・墓参り・役所の

手続きなど、生活の質を高める提供活動の充実に努めると共に送迎活動を会報などで紹介し、利用者の拡大を図ります。

パソコン指導は、利用者のニーズに合わせて幅広く助言・指導を行うと共に電話やメールまたは遠隔操作による指導等を行います。更に Windows8 への買換えによる初期設定や使い方指導等にも取り組みます。

(2)福祉施設支援活動

担当 植本壽満枝

今年度も地域社会への貢献と会員の活性化につなげる活動を目指します。「サンセール香里園」、「エイジフリー・ライフ星が丘」等、新しい提供者を掘り起こしながら前年度と変わらず、提供活動を地域貢献の場と捉えて活動します。

3. 奉仕活動

担当 植本壽満枝・東平守弘

今年度は、前年比7%のアップを計画しています。昨年度の課題である活動会員の発掘には、地区会とタイアップし目標に向かって活動をいたします。

(1)福祉施設支援活動

従来の活動に加え、地区会、文化部、同好会等の更なる協力を得て前向きに取り組み、またハンドマッサージなど新しい活動を検討しています。

(2)子育て支援活動

子供安全見守り隊は、着実に伸びてきましたが、さらに会員の活動促進をしていきます。新しいプログラムの親子支援活動も増え、活動会員の掘り起こしをしていきます。

(3)環境美化活動

天候により左右されるが、毎回安定した活動者の増加を目指します。岡東中央公園の活動では、これまでの活動効果によりゴミの量が減っている為、清掃時間を切り詰め、余った時間をラジオ体操や太極拳などを新たに組み入れます。

(4)その他ナルク外部活動

「青色防犯パトロール活動」が定着した活動となり、新たに今年度より「ハンドマッサージ活動」が加わり、福祉施設への支援や地域の各種イベントなどに参加していきます。

4. 事業活動

担当 和田亮吉

枚方市から受託している3事業は、市民を対象とした重要な地域貢献活動です。

(1)在宅生活援助受託事業

「在宅生活援助事業」は、昨年他の事業者が参入したことにより、本年度の依頼件数は昨年に比べ半減する見込みですが、依頼に対しては、即応できるよう地区別に担当者を決めて対応していきます。

(2)生きがい創造学園受託事業

各種講座の運営・事務局の対応など見直しを行い、受講生が自主的に学び「生きがい」と「チャレンジ精神」が持てるよう努めていきます。

(3)生涯学習情報プラザ受託事業

学習ルーム・交流ルームの活用頻度増と新予約システムに的確に対応するため関

係部門との綿密な連携を図っていきます。

パソコンの新規更新による諸問題に対応できるよう指導者の研鑽を図っていきます。

5. 文化・スポーツ活動

担当 梅田壽雄

本年度は参加人員の増加に努めていきます。

参加人員の減少の原因には 新入会員の伸び悩みと併せメンバーの固定化により新規の加入が難しくなっていると思われます。本年は各部のリーダーとの情報交換・協力を得て減少の原因究明とその対策を講じて部・同好会の活性化を図り参加人員が増加するように努めていきます。

さらに、文化・スポーツ、同好会活動を通じて築かれた人間関係を原動力として本来活動であるボランティア活動の提供者になってもらえる活動をします。

本年も会員同志の活動に止まらず広く地域や施設への積極的な活動を支援していきます。高齢化に伴い、活動には十分な配慮を頂いていますが無理のない、全員参加型の活動が行われるよう御支援と御協力をお願いします。

6. 会員活動促進

担当 山田 徹

できるだけ多くの会員の方々が参加し、相互の親睦を図り且つ顔の見える組織を作る為、会合・イベント・研修会等を実施致します。

(1)地区会

地区会の活性化は、達成出来たものと推測致します。その次の段階として、今年度は「内容の充実」を図って行きます。そのために

- ① 地区会と親睦会との違いを明確化します。
- ② 近隣地区との合同地区会を行います。
- ③ 地区担当運営委員及び地区世話人代表の情報交換会議を実施します。

(2)会員研修会

会員研修は、ボランティアとして会員の知識と技能の向上は不可欠です。

そのため今年度も積極的に研修を行います。

「本部主催のリーダー養成講座」への参加。

「コーディネーター養成講座」の実施。

「シニア生活・介護支援サポーター研修」を予定しています。

「新入会員説明会」の見直しを行います。

(3)イベント

ナルクは、20年の節目を迎えます。本部の仙台市での20周年記念行事への参加とNALC「天の川クラブ」では20周年記念総会・式典(6月)及び記念イベントを(10月)に実施します。

また、会員相互の情報と親睦を図るため、「日帰りバス旅行」の実施と例年通り「さくらまつり」、「NPO フェスタ」に参加します。

(4)活動区分別交流会

交流会は、情報交換・コミュニケーション・親睦の場として重要であり、各リーダーは、実施計画に基づき目標を達成すよう勧めます。皆様方の積極的参加を望みます。

(5)誕生月会

今年度は昨年に引き続き、「誕生月会カード」をお届け致します。

事務局活動

担当 和田亮吉

事務局スタッフは、「天の川クラブ」の活動を遅滞なく且つ正確に進めるため、本年度も次の事項を進めます。

- (1)会員管理業務・入力業務・会報・手配り・ホームページ等の充実を図っていきます。
- (2)広報・渉外活動は、各福祉施設・団体・イベント等にナルク活動を積極的にPRしていきます。
- (3)その他、南海トラフ巨大地震に対応するPC管理・帳票等の管理を進めていきます。